

2030

なか
ぐ
み
らい
ち
す
中区わくわく未来地図



名古屋の中心栄は ビジネスと住居が 融合している町

ゆうごう

栄学区 服部殖産株式会社

はつとり ひろあき
服部 浩明さん



リニア新幹線開発の効果により名古屋駅周辺が活性化しておりますが、今後は栄地区の開発が進みますます活気づきます。

名古屋は都市再生緊急都市整備地域に指定されており、広小路通りを中心として名駅から栄まで特別エリアに指定されていて栄はこれから変貌していくでしょう。

具体的には、久屋大通公園の開発、中日ビルの建て替え、丸栄跡地の商業施設の開発等が進んでおります。UFJの入っていたビルはカナダの不動産投資ファンドが高額で購入しており、海外からも魅力のある名古屋であることを示しております。国際ホテ

ル周辺、丸善の跡地の開発は未定であり今後の開発が期待されます。これらは民間会社が所有しておりますが、中心的な街づくりの開発に際しては民間に委ねるだけでなく官も応援していくべきと思っています。

今後の名古屋の将来像としては名古屋駅、栄地区、名古屋城、大須を迂回できる町づくりが必要です。

広小路通りは戦後露店がならび多くの市民が行き交うメインロードであり、今から10年程前には、広小路通の活性化を目的として、「市電を走らせよう」「せせらぎの小川を作ろう」などの提案もありました。

栄西地区は、錦通りでも再開発する動きがあり、り



栄小学校



広小路通 東方向



広小路通 西方向

この道は、西は海部郡の大治町、東は豊田市の力石北まで信号で曲がることなく直っすぐの一本道です。

そな銀行の跡地を某大手ゼネコンが取得し、新たなオフィスビルが建築される計画もあります。また近隣には再開発の計画もあり、20年後には、ビル群が林立する街となります。また、栄西地区は、商業施設だけではなく居住用分譲、賃貸マンションの建設も増えてきました。栄は商業地ですが住居もふえており、最近は居住人口が急速に増えて小学生も増えつつあり、生徒が減少していた小学校も最近では生徒数が増えてきております。今後、名古屋はますます面白い町になると思います。

栄西地区には、科学館のプラネタリウムはドーム内径35mという世界一の規模と映像クオリティを実現しています自慢できる施設、美術館、白川公園もあります。

文化という点では名古屋市内の劇場が閉鎖されている中、栄西地区内の由緒ある御園座は大変貴重な存在です。エンターテイメントのエリアとして周辺をもっと活性化し老若男女の皆様に親しまれる劇場に今後ともますますなって欲しいと思っています。

栄には、大丸松坂屋、三越の2Mデパートがあり、商業施設も多く、その利便性を求めて郊外から移住される例も増えてきております。

名古屋の中心地である中区は、商業、ビジネスと住居が融合している街づくりであり、大いに魅力がある町であることが、大きな誇りです。



電気文化会館